

8-4-17 交通・安全専門委員会

1. 主な活動の記録

(1) 交通・安全専門委員会の開催

委員会開催回数：9回

(令和3年8月、令和4年2月、3月は休会)

(2) 自主研究

令和3年度は、『with・after コロナにおける交通・安全分野のあり方に関する調査研究』を主テーマに3つのサブテーマを設定し、交通・安全に関する技術向上と新たな市場開拓に向けて実施した。

自主研究はサブテーマ毎にワーキングを設置して進めた(【WG①：交通計画(国土構造、交通需要)に関する研究】、【WG②：公共交通・物流分野のあり方に関する研究】)、【WG③：道路空間のあり方に関する研究】)。【WG①】では全国における新型コロナウイルス状況下の交通分析事例を収集・整理し、新しい生活様式の特徴やアフターコロナを見据えた対策方針・事例を踏まえた上で、ニューノーマルに向けた新たな都市・交通政策メニューを整理した。【WG②】では新型コロナによる公共交通分野・物流分野への影響、新型コロナに対応した公共交通分野・物流分野の計画・方針、新型コロナに対応した公共交通分野・物流分野の取組み事例を整理した。【WG③】ではwith・after コロナを踏まえた道路空間整備の課題・ニーズ及び取組み事例を整理した。各WGともに各テーマにおいて想定される課題やあり方、建設コンサルタントとしての役割をとりまとめた。

(3) セミナーの開催

「3D 都市モデルの活用及び最近の交通安全事業」をメインテーマとして開催した。

- a) 開催日：令和4年2月22日(火)
- b) 開催方法：WEB開催(ZOOMによるオンライン開催)
- c) 参加者数：70名
- d) 講演①：国土交通省都市局都市政策課課長補佐 内山様より「Project PLATEAU-3D

都市モデルの整備・活用・オープンデータ化の取組について」として講演を頂いた。

- e) 講演②：千葉工業大学創造工学部教授 赤羽様より「最近の交通安全事業及び同事業におけるビッグデータ分析の適用について」として講演を頂いた。

(4) 現地見学会の開催(未実施)

自主研究テーマに関連して、現地見学会を実施予定であったが、新型コロナウイルス感染の影響等により開催を見送った。

(5) 最新関連情報の収集

交通・安全に関わるトピック的な事項について、今後の展開方向、建設コンサルタントとの関わりなどを議論した。令和3年度における主な内容は以下のとおりである。

- a) ニューノーマル時代の安全・快適な移動と経済の活性化に向けた公共交通利用者の行動変容を促す社会実験の状況
- b) カーボンニュートラルに向けた道路分野の取り組み状況
- c) 東京2020オリ・パラ大会交通規制等の実施状況等

(6) 外部組織への活動支援等

- a) 国交省大学 道路交通安全〔事故対策コース〕への講師派遣

2. 次年度の活動について

令和4年度においても、交通・安全分野に関するテーマを設定し(自主研究テーマ検討中)、建設コンサルタントの関わり方について検討する予定である。また、研究テーマの内容に合わせてセミナー、現地見学会、フィールドワーク等を実施する予定である。

(交通・安全専門委員会委員長 福島 賢一)